

イギリス水禽協会 (Wildtowl Trust) の概要

イギリス水禽協会協会は、Peter Scottが1946年に設立した団体で水禽の調査、保護および普及を業務としている。本部はグロスター州スリムブリッジ (Slimbridge) におかれている。この他同国内に5ヶ所のセンターがあつて、それぞれ一般公開されている。(図参照)

本部の調査部門は世界各国の機関と連繫をとつている。同じ場所に国際水禽調査機構の本部もある。IWRBは水禽の個体数、行動、渡り、餌と疾病の問題、保護および農業との関連といった広範囲におよぶ調査、研究を行なつている。協会本部のあるSlimbridgeのほか、マーチン・メア (Marthin Mere)、ワシントン (Washington)、ピーキーク (Peakirk) の各センターには専門職員がいて、主として学校生徒を対象にした普及教育活動に当つている。1975年には5万人以上の利用者があつた。

稀少種、絶滅に類している種を含む水禽のコレクションは世界的に知られている。これと並んで協会の活動を特徴づけるものとして絶滅に類している水禽の飼育があげられる。^{<ハワイガン>} Hawaiian Goose ^{<アメリカオシドリ>} や white-winged Wood Duck などの様な成功例もある。

センターに付属している動物保護区は、冬季間ハクチョウ類、ガン・カモ類などの格好な避難場所になっている。各保護区に特徴的な水禽をあげると、Slimbridge (コハクチョウ、マガン)、Martin Mere ^{<コザクラバシガン>} (pink-footed Goose)、^{カールレイブロック} Caerlaverock (Barnacle Geese)、Welney (コハクチョウ、オオハクチョウ、シギ、チドリ類) などである。観察用の施設も整つていて、水禽をすぐ近くで見ることができる。カールレイブロックは別として、X'masを除く、毎日9時半から利用できる。20名以上は団体割引あり。

本協会の運営は、会員の援助と一般からの寄付金によって賄われている。会員の利用は無料。入会には何の制限もない。説明書、入会申込書等は各センターへ。

1. ピーキルク (Peakirk)

古くから栄えた運河地帯に位置している。このセンターは写真撮影に適した所として知られている。80種、700羽の水禽がおり、その多くは稀少種 — Chiean Flamingo、Black-necked Swan、Coscoroba Swan、Andean Geese などである。昔、女王陛下から贈られた子孫に当る Trumpeter Swan もここで毎年繁殖している。

2. カールレイブロック (Caerlaverock)

保護区の面積は約1,000エーカー (40ha) で国立野生生物保護区の一部に含まれている。ここに生息する代表的な水禽には Barnacle Geese (6,000羽以上 : 1975年から76年にかけて) Pink-footed Geese (3,000羽以上)、ムナグロ (5,000羽以上) などがある。この他コハクチョウ、オオハクチョウ、ミヤコドリ、ナベケリ、ダイシャクシギ、ハマシギ、ハイイロチュウヒ、コチョウゲンボウ、ハヤブサ、チョウゲンボウなども見られる。

9月1日から翌年5月15日までオープン。管理人が案内するのは午前11時から午後2時までの間で、50人以下の場合に限る。

カールレイブロック城から3マイルのSolway河口に位置している。

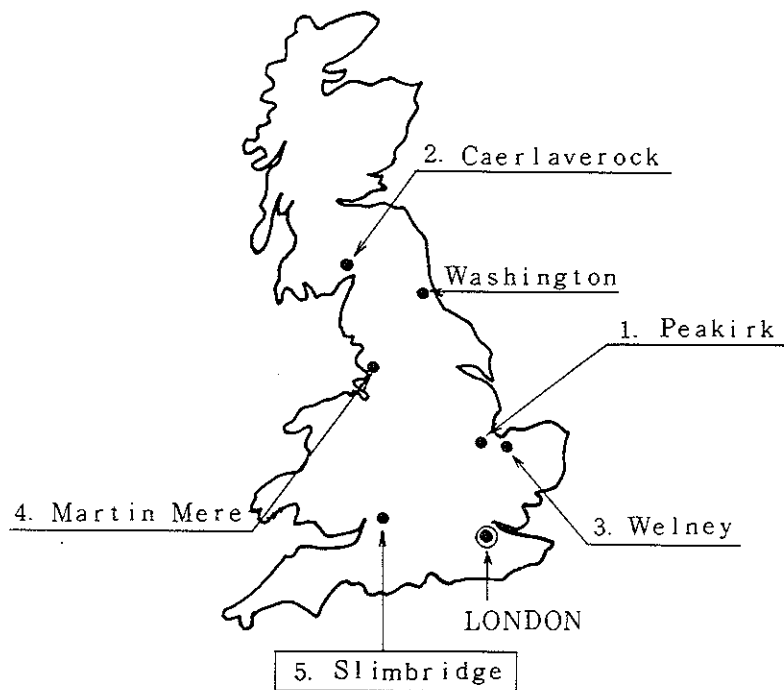


図 水禽協会(本部)およびセンター所在地

3. ウェルネー (Welney)

ここで10,000羽におよぶカモ類(ヒドリガモマガモ、ハシビロガモなど)と、1,000羽のコハクチョウが越冬する。Black Tern ソリハシギ、オグロシギなども春夏にみられる。観察施設は整っている。証明設備があるので、冬季間夜でもハクチョウを観察できる。面積は700エーカー(約30ha)である。

次の3つの利用法がある。

- a) 管理人の案内がいらなければ、いつでも利用できる。
- b) 案内を必要とする時は、土・日曜日の午前10時から午後1時45分までなら利用できる。
- c) 夜間の利用は11月1日から3月1日まで(但し20人以上の場合に限る。)

4. マーチンメア (Martin Mere)

面積は360エーカー(約15ha)。かつては

湖であった所で、現在は湿地になっている。数千羽の水・渉禽類が渡来する。世界各国から集められた1,000羽以上の水禽のコレクションが有名である。また、ガン類をはじめとしたヨーロッパ産水禽の大群が見られるのもこの特徴である。ビジターセンターの中には、映画館・展示室・ホールなどが完備している。

サウスポートから52マイル、リバプールから172マイルの距離。

5. スリムブリッジ (Slimbridge)

何と云っても、一番魅力のあるセンターはここである。6種のフラミンゴ類を含め、約170種2,500羽以上の水禽が集められている。この他ハチドリ、フウキンチョウなども飼育されている。冬季間には多数のハクチョウ類、ガン・カモ類が渡来する。Bewicks Swan ベウイクコハクチョウとかWhite-fronted Geese マガンなども渡来する。夏にはあらゆる種類の水禽のヒナが見られる。

ビジターセンターには展示室・映画館・食堂ま

でが揃っている。パークレー城から6マイル、ユースホステルは1マイルの近さにある。

<参 考>

Howaii Goose	ハワイガン
White-winged Wood Duck	アメリカオシドリ
Chilean Flamingo	チリーベニイロフラミンゴ
Black-necked Swan	クビクロハクチョウ
Coscoroba Swan	カモハクチョウ
Andean Goose	アカハシコバシガン
Trumpeter Swan	ナキハクチョウ
Barnacle Goose	カオジロガン
Pink-footed Goose	コザクラバシガン
Black Tern	ハシグロクロハラアジサシ
Bewicks Swan	ベウィクコハクチョウ
White-fronted Goose	マガン
Pink-footed Goose	コザクラバシガン

(原則として、日本産の鳥類は片仮名で示し、その他を英名・和名併記とした。地名の読み方は正確でないかも知れない。ワシントンは省略)

< I・O 訳 >